

所属・資格 社会福祉学科・教授

申請者氏名 山田 祐子

研究課題		2017年度改訂版厚生労働省高齢者虐待対応マニュアルにおける高齢者虐待対応ソーシャルワークモデルの分析
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>2017年度において厚生労働省は、高齢者虐待対応の手引書として2006年4月に策定した『市町村・都道府県における高齢者虐待への対応と養護者支援』を11年ぶりに改訂することとなった。</p> <p>2009年度厚生労働省補助金事業で、日本社会福祉士会とともに申請者は、「高齢者虐待対応ソーシャルワークモデル」を研究開発し、『高齢者虐待対応ソーシャルワークモデル実践ガイド』（中央法規出版、2010年）を上梓した。その後、当該研究事業を進展させ、2015年3月に、日本社会福祉士会の「虐待対応専門研修～アドバイザーコース～」が、認定社会福祉士制度研修として構築し、さらにそれを進展させ初の上級認定社会福祉士の認証を受け、2016年度から実施されることとなり、申請者は、当初から日本社会福祉士会の高齢者虐待防止研修の研修プログラムの研究開発に携わっており、今回も監修者となった。また、申請者は、方法論の構築として『市町村・地域包括支援センター・都道府県のための養護者による高齢者虐待対応の手引き』、『市町村・都道府県のための養介護施設従事者等による高齢者虐待対応の手引き 帳票・事例編』も日本社会福祉士会と研究開発を行った。本研究では、喫緊の社会的課題でもある高齢者虐待防止についてソーシャルワーク支援の理論と方法および専門性の発展のため、改訂された厚生労働省の手引書における「高齢者虐待対応ソーシャルワークモデル」について分析を行う。</p>
	研究の結果	<p>本研究テーマを具体的に分析し、ソーシャルワーク実践に反映させるため、日本社会福祉士会主催の「認定上級社会福祉士認証研修」において、『2017年度改訂版厚生労働省高齢者虐待対応マニュアル』を分析し、その内容を研修プログラムに反映させ、研修実施を行うこととした。なお、本研修は、日本社会福祉士会主催の「認定上級社会福祉士認証研修」として認定社会福祉士は「科目名：権利擁護・法学系科目Ⅱ（単位数：2単位）認証番号20140060」として位置づけられており、虐待対応専門職チーム登録者で認定社会福祉士以外の会員は、「新生涯研修制度独自の研修・実績：1単位9.5時間」「旧生涯研修制度 専門分野別研修：2単位」の研修単位となっている。2年に1度で開催することになっており、2018年度において、申請者は監修者として参加し、前回の評価を行い、研修プログラムの改訂、実施を行った。</p>
	研究の考察・反省	<p>『2017年度改訂版厚生労働省高齢者虐待対応マニュアル』の改訂内容は、分析した結果、日本社会福祉士会が研究開発し策定した、一連の手引き書を反映した改訂となっていたので、本研修プログラムに改訂厚労省マニュアルには新たに追加するものはなかった。言い換えれば、厚労省マニュアルが日本社会福祉士会の高齢者虐待対応ソーシャルワークモデルを反映させたとの知見を得た。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ、誌名 巻・号、発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p><b>【研究発表】</b> (単独発表)</p> <p>第15回日本高齢者虐待防止学会泉州大会「虐待による高齢者の死亡事例等と検証に関する調査研究～事例および導き出される課題」、2018年9月1日、桃山学院大学</p>	